

平成22年度 事務事業評価シート（平成21年度実績分）

事務事業名	最終処分場管理事業		部課コード	1810	予算事業科目	010403010420	事	単	区分	継続	
所管部署	担当部局	環境部	部長名(2次評価者)	明神 公平		個別事務	全部	010403010420	-	1	
	担当部署	東部環境センター	所属長名(1次評価者)	大久保 高秀					-		
	電話番号	088-883-1155	E-mail	kc-181000@city.kochi.lg.jp					-		

1 事業の位置付け

予算科目(平成21年度)	高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け										
会計	01 一般会計	目標	03 C環境と共生する安全で快適な都市	政策基本方針	市民・事業者・行政が一体となって、協議・参加による環境保全活動に取り組み、気球環境に貢献する循環型社会システムの確立をめざします。						
款	04 衛生費	政策	02 地球環境に貢献する環境型社会の構築								
項	03 清掃費	施策	04 廃棄物の適正処理								
目	01 塵芥処理費	区分	04 収集処理体制の充実								

2 事業の根拠

法律・政令・省令	○廃棄物処理法	法定受託事務
県条例・規則・要綱等		
市条例・規則・要綱等	○高知市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例	
その他(計画、覚書等)	○一般廃棄物処理実施計画	

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	高知市で発生する一般廃棄物のうち不燃物				
意図	どのような状態にしていくのか	三里最終処分場において埋立て処理、及び浸出汚水の処理。				
手段	事業実施体制等	不燃物の受け入れ、埋立て業務、施設管理は直営で行い、汚水処理設備の運転管理は委託業務で行っている。	事業開始年度	昭和60年度		
			事業終了年度			
活動内容	どのような事業活動を行うのか	○安定した処理を継続する。 ○日常点検や改修などの保全活動により、設備の信頼性を確保する。 ○放流水や地下水などの環境測定を実施し、環境汚染の無いことを実証する。 ○搬入物の解体などにより、埋立て量の減量化を図る。				
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方			
	A					
	B					
	C					

4 事業の実績等

			19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	目標						
		実績						
	B	目標						
		実績						
	C	目標						
		実績						
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)	41,157	35,131	29,651	33,915	22年度は当初予算額	
		財源内訳	国費 (千円)					
			県費 (千円)					
			市債 (千円)					
			その他 (千円)					
			一般財源 (千円)	41,157	35,131	29,651		33,915
	翌年度への繰越額 (千円)							
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)	57,525	47,475	47,475	47,475		
		正規職員 (千円)	57,525	47,475	47,475	47,475		
		その他 (千円)						
		人役数 (人)	7.67	6.33	6.33	6.33		
		正規職員 (人)	7.67	6.33	6.33	6.33		
		その他 (人)						
	総コスト= ① + ② (千円)		98,682	82,606	77,126	81,390		
市民1人当たりコスト (円)		289	242	227		総コスト/年度末人口		
年度末住民基本台帳人数 (人)		341,544	340,695	339,714				

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

○発生した廃棄物の全量を安定的に適正に処理を実施した。
 ○清掃工場に於ける焼却能力不足によるプラスチック分別減容固化後の埋立処理や'98豪雨による災害ごみの処分など緊急非難的なごみ処理では多大な成果を担ってきた。
 ○今後想定される南海地震災害については処理不能であり別途対策が必要である。
 ○地元市民の最終処分場に対する認識と処分場の拡張をどのようにするか。
 ○最終処分場閉鎖後の跡地の利用計画(自然の里山環境に戻す)

6 1次評価(所属長評価)

評価日(平成22年 9月 22日)

評価項目		評価基準	1次	平均点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく	A	5.0	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条第1項の規定による、一般廃棄物処理実施計画に基づき、市民が輩出する不燃ごみの適正な処理を行い、法を遵守した最終処分場の適正な施設管理を図る。
		B (3) 一部結びつく			
		C (1) あまり結びつかない			
		D (0) 結びつかない			
	② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ(需要量)の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している	A		
		B (3) 横ばいである			
		C (1) 少ない、減少している			
		D (0) ほとんどない			
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している	A	5.0	衛生的な埋立て処理と、浸出水や発生ガスの適正な処理を行い、周辺環境に影響しない施設管理を行う。また、搬入物の解体などによる徹底した分別を行い、埋立て量の軽減を図り、最終処分場の延命化を図る。
		B (3) 概ね達成している			
		C (1) あまり順調ではない			
		D (0) 十分な成果を望めない			
	④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である	A		
		B (3) 概ね妥当である			
		C (1) 検討の余地がある			
		D (0) 見直しが必要である			
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない	A	5.0	平成20年度より汚水処理設備の運転管理を委託している。埋立て業務や受入れ業務については、市民への対応や信頼できる埋立て作業を行うために、行政主体が望ましい。
		B (3) 行政主体が望ましい			
		C (1) 検討の余地はある			
		D (0) 十分可能である			
	⑥ [事業統合・連携・コスト削減] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない	A		
		B (3) 概ね効率的にできている			
		C (1) 検討の余地がある			
		D (0) 十分可能である			
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い	A	5.0	高知市全域の一般廃棄物の内不燃物の最終処分を行っている。
		B (3) 概ね保たれている			
		C (1) 偏っている			
		D (0) 公平性を欠いている			
	⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合(一般財源負担割合)は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である	A		
		B (3) 概ね適正な負担割合である			
		C (1) 検討の余地がある			
		D (0) 検討すべきである			
総合点	20.0	総合評価	○ A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)		
			B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)		
			C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合)		
			D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)		

7 2次評価(部局長評価)

評価日(平成22年 9月 29日)

総合評価	評価理由・今後の方向性等
○ A 事業継続	1次評価のとおり
B 経費削減に努め事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項